

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都府宇治警察署	階数	地上5F
建設地	京都府宇治市	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2022年2月28日
敷地面積	2,965㎡	作成者	山岡義大
建築面積	1,981㎡	確認日	
延床面積	7,528㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.9

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 京都府宇治市に位置する警察署の建替え計画。人通り・車通りの多い府道側に対して建物セットバックさせることで空地を確保した計画。勾配屋根とし、建物ボリュームを抑えることで周囲の景観に配慮するとともに、各階に庇を設けて建物外周に沿って引違いの連窓を設けることで自然光の取入れ及び外壁の維持管理に配慮した計画とした。		・特になし
Q1 室内環境 ・シックハウスに配慮した建材を使用。 ・遮音等級T-2以上のサッシの採用。 ・外周に沿って水平連続窓を設けることで明るく開放的な執務空間とした。	Q2 サービス性能 ・ゆとりある階高設定とすることで、将来の設備機器更新への配慮を行った。 ・来庁者の訪れる待合、エントランス等の共用空間は木材を利用した内装とすることで親しみやすい庁舎を目指した。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内既存樹(桜)の保存や、府道側交差点に対してエントランスを設けることで地域に開かれた庁舎を目指した。 ・勾配屋根や、庇、格子等宇治らしいデザインを踏襲し、水平ラインを強調した陰影のある意匠を採用することで周辺環境にふさわしい外観とした。
LR1 エネルギー ・太陽光発電、庇による熱負荷の低減、各階横連窓による自然光の取入れ等、自然エネルギーを積極的に活用した計画とした。	LR2 資源・マテリアル ・省水型機器、LED照明、リサイクル材及びび水の利用等により、限られた資源を有効に活用した計画とした。	LR3 敷地外環境 ・府道に面したガラス面には外装ルーバーを設け、太陽光の反射に配慮。 ・住宅地側は窓を最小限とすることで、住宅地への光環境に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される